

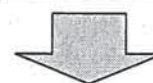
分野別目標総括シート

分野別目標7 創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している

<めざす姿>

- 創業など新たな挑戦をしようとする、創造的で先鋭的な人材や企業が世界中から集まっており、新たな価値を生み出し、開業率が全国トップレベルになっています。
- 創造性あふれる感性や技術、才能をもった人材や企業が集積する中で、創業者や新進芸術家、クリエイターなどの創造的で先鋭的な人材や企業が活躍し、新しい価値を生み出しています。
- 文化芸術活動を行う人が数多く活躍し、ゲーム、ファッション、デザイン、映画、音楽などのクリエイティブ関連産業が集積・拠点化しており、都市の成長の原動力となっています。
- 都心を中心とした創造的な空間に人材が集積し、活発に交流しており、福岡を拠点に活躍する女性、若者、学生、留学生が数多く生まれ、チャレンジする人材が活躍しやすいまちになっています。

	施策	施策の 進捗状況	成果指標	
			指標の項目	達成状況
7-1	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり	—	新設事業所数	—
7-2	創造的活動の基盤となる文化芸術の振興	—	/	/
7-3	個人の才能が成長を生む創造産業の振興	—	クリエイティブ関連産業事業所数	—
7-4	多様な人が集まり交流する創造的な場づくり	—	/	/
7-5	チャレンジする若者や女性が活躍するまちづくり	—	若者率の全国平均との差	—
			企業における女性管理職比率	—
7-6	大学や専門学校などの高等教育機関の機能強化	—	全国の学生数に占める福岡市の割合	—

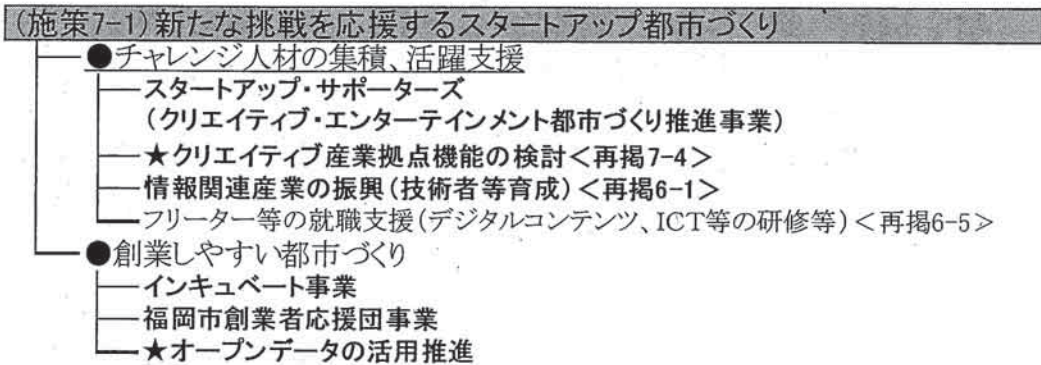


「施策の進捗状況」、「成果指標の達成状況」の欄は、来年度以降の施策評価から記載することとしています。

施策評価シート

分野別目標	7	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している
施策	7-1	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり
施策の方向性	創業や社会実験、ソーシャルビジネス、新たなプロジェクトなど、さまざまな分野でスタートアップ（新しい行動や事業を起こすこと）にチャレンジする人材や企業を国内外から福岡に呼び込み、インキュベート事業、創業者の成長段階に応じた支援など、それぞれのニーズに対応したきめ細かなサポートにより、福岡で活躍できる環境を整え、創業しやすく、新たな挑戦を応援する都市の実現を図ります。	
施策主管局	経済観光文化局	関連局 総務企画局

《施策事業の体系》 ★：新規事業、◆：区事業 / 太字：重点事業、その他：主要事業



《成果指標》

指標項目	現状値	中間目標値	目標値
		2016(平成28)年(度)	2022(平成34)年(度)
新設事業所数	790 事業所/年 (2009年)	820 事業所/年	850 事業所/年 (2021年)



※成果指標の実績値は、来年度以降に記載します。

1 主な課題等 ※来年度からこの欄には、成果指標や事業の進捗状況等を踏まえて「施策の評価」を記載します。

●創業しやすい都市づくり

- ・国の新成長戦略（H25.6月）にて開業率・廃業率（4.5%：H16～21 平均値）の目標を米・英国レベル（10%台）と設定。
- ・福岡市は開業率指定都市1位（4.1%、全国平均2.6%（H18～21）H21 経済センサス基礎調査）、創業者のニーズに対応したきめ細かな支援が必要。・創業予定者や創業間もない企業や個人を対象に、賃料負担の軽減、経営指導等の支援を行うインキュベート事業を実施、利用企業はその後の事業不振等による廃業等を除き、67%が事業を継続（137社中92社。）

*インキュベート事業実施に伴う経済波及効果：約80億円（H24.12月）

- ・創業期のみならず、企業の成長段階に応じて、創業者が直面する課題に対し経営者や専門家のネットワーク（福岡市創業者応援団）との共働により支援策を実施している。
- ・行政機関が保有する様々なデータを広く利活用できる方策を推進していくことは、豊かな市民生活と新たなビジネスチャンスの創出のために重要。H25nから、福岡市、千葉市、奈良市、武雄市の4市による「ビッグデータ・オープンデータ活用推進協議会」を設立し、実例の創出を図っている。

●チャレンジ人材の集積、活躍支援

- ・H24.9月、コンテンツ・モバイル分野等における創業者の発掘・育成を図るため「スタートアップ・サポーターズ」設立。今後は民間企業や関係団体等と連携し事業周知を図る。
- ・福岡市の基幹産業である情報関連産業の競争力強化のため、ニーズの高い組込みソフト技術者育成などを実施し、今後も人材の育成と集積を図る必要がある。
- ・デジタルコンテンツクリエイター育成事業やICTクリエイター育成事業など、ITスキルを習得できる講座の実施などにより、フリーターなど非正規雇用者の正社員就職を支援している。

※施策を構成する事業の実施状況は、別紙「事業一覧」のとおりです。

2 今後の取組みの方向性

●創業しやすい都市づくり

- ・自立した安定的な経営を行うことのできる創業者の増加を図ることで、地場企業の集積と雇用創出、さらに新たな事業の創出へと繋げる。
- ・インキュベート施設の卒業企業の現状把握に努め、支援策全体の見直しも踏まえ、インキュベート事業充実を図る。
- ・創業者のニーズを把握し、創業者応援団事業の見直しを行うなど、創業者に対するきめ細かなサポートを講じるための検討を行い、推進する。
- ・オープンデータの活用方策を調査研究し、福岡市に相応しい活用事例の創出に向けた取組み、さらに「オープンデータ流通推進コンソーシアム」との連携など、オープンデータ、ビッグデータに係る活用施策を多面的に推進する。

●チャレンジ人材の集積、活躍支援

- ・「スタートアップ・サポーターズ」による創業マインド醸成などにより、創業者の発掘・育成を図る。
- ・業界の要請に応える人材育成事業を推進し、優秀な人材の供給により競争力を高めることで、スタートアップの推進とさらなる関連企業・人材の集積を図る。

事業一覧

分野別目標	7・創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している
施策	7-1 新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり

事業名 (太字は重点事業、細字は主要事業)	H25n予算額 単位：千円	H24n実施状況
所管課	H24n事業費 単位：千円	
スタートアップ・サポーターズ (クリエイティブ・エンターテインメント都市づくり推進事業)	40,741	①クリエイティブ福岡推進協議会(クリエイティブ・ラボ・フクオカ)の設立 クリエイティブ関連産業を包括的に捉え、異業種間の交流・連携促進、国内外に向けた情報発信を通じて、クリエイティブ関連産業の振興、地域経済の活性化に繋げることを目的とする「クリエイティブ・ラボ・フクオカ」を1月に設立した。3月には総合イベント「クリエイティブフェスタ」を開催した。 ②スタートアップ・サポーターズの設立 デジタル技術やコンテンツ、モバイル分野等における創業者の発掘・育成を図り、「スタートアップ都市・ふくおか」の実現を目指すため、9月に「スタートアップ・サポーターズ」を設立した。
経済観光文化局国際経済・コンテンツ部コンテンツ振興課	46,340	
インキュベート事業	144,346	創業5年未満及び創業を目指す創業者を対象に公募し、低廉な使用料で事務スペースを提供するとともに、アドバイザーを派遣して経営の自立化を目指すもの。 入居者は随時募集して審査会を開催。 H25.6月現在、43区画中39区画入居中(創業者応援型賃貸施設分を除く。)
経済観光文化局新産業・立地推進部 創業・大学連携課	135,352	
福岡市創業者応援団事業	6,391	地場の経営者及び専門家で構成される福岡市創業者応援団と市の共働による事業。 (主な事業) ・福岡市ステップアップ助成事業の実施(最優秀賞2件、奨励賞3件) ・創業者フェア開催 ・ビジネスプラン総合相談会開催 ・経営を語る会開催 ・若手経営者たちの創業挑戦記開催
経済観光文化局新産業・立地推進部 創業・大学連携課	5,695	

施策評価シート

分野別目標	7	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
施策	7-2	創造的活動の基盤となる文化芸術の振興		
施策の方向性	創造的な文化芸術活動は、デザインやファッションなどのクリエイティブ関連産業の基盤ともなるものです。これらを行う人々の自主性を尊重し、活動しやすい環境づくりを進め、福岡を拠点として、その能力が十分に発揮されるよう活動を支援します。			
施策主管局	経済観光文化局	関連局	市民局	

《施策事業の体系》 ★：新規事業、◆：区事業 / 太字：重点事業、その他：主要事業

(施策7-2) 創造的活動の基盤となる文化芸術の振興

● 創造活動を担い、支える人材の育成と活動の支援

- 拠点文化施設整備検討<再掲1-4>
- 香椎副都心公共施設整備(市民センター、音楽・演劇練習場)<再掲2-2>
- まちなかアートギャラリー<再掲1-4>
- 福岡アジア美術トリエンナーレ
- FFACステップアップ助成プログラム(地域アーティストの育成)

《成果指標》

(なし)

1 主な課題等 ※来年度からこの欄には、成果指標や事業の進捗状況等を踏まえて「施策の評価」を記載します。

● 創造活動を担い、支える人材の育成と活動の支援

- ・ 福岡市がクリエイティブ産業の振興を強化する中、その基盤ともなる文化芸術活動はますます重要となっている。
- ・ アーティストが関東圏や関西圏など他地域に流出する一方で、関東圏のアーティストが福岡に拠点を移し、活動している現状がある。一方で、若手アーティストは発表の場・機会が少なく、また実績が乏しいため国・民間からの支援（助成金等）を受けにくい状況にあり、アーティストが活動しやすい環境づくりをさらに進める必要がある。
- ・ アジアの最新の美術傾向を紹介してきた「福岡アジア美術トリエンナーレ」の開催は、福岡で行われる展覧会の中では、国内外から高い評価を受けており、福岡市の文化芸術の振興の一翼を担っている。
- ・ 市内3か所にある音楽・演劇練習場は、各施設とも利用率は非常に高く、利用者数も年間20万人を超えている。
*H22：230,176人 H23：231,768人 H24：225,304人（H24n利用率 千代：80.2% 祇園：92.4% 大橋：85.3%）
- ・ 文化ホールや練習場が整備されているものの、創造活動のために長期間利用できる稽古場や、舞台芸術の専門性に対応できる舞台設備を擁したホールは少ない。

※施策を構成する事業の実施状況は、別紙「事業一覧」のとおりです。

2 今後の取組みの方向性

● 創造活動を担い、支える人材の育成と活動の支援

- ・ 美術、映像、ダンス等の若手アーティストの発表の機会を提供するとともに、作家同士の交流の機会をつくるなど、アーティストが活動しやすい環境をつくる。
- ・ アーティストや芸術団体のステップアップを促すため、従来の助成金に加えて報告会や専門家によるアドバイス等のフォローアップを行うなど、創造活動支援を行う。
- ・ 「福岡アジア美術トリエンナーレ」については、企業からの寄付金や助成金の確保にも困難が予想されるため、新たな寄付・助成制度を開拓するなどして活動を支援する。
- ・ 拠点文化施設については、創造活動の拠点としても活用できる場を整備し、専門的人材の育成や創造活動の支援ができるための方策を検討する。

事業一覧

分野別目標	7 創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している
施策	7-2 創造的活動の基盤となる文化芸術の振興

事業名 (太字は重点事業、細字は主要事業)	H25n予算額 単位：千円	H24n実施状況
所管課	H24n事業費 単位：千円	
福岡アジア美術トリエンナーレ	2,573	福岡アジア美術館、共催メディア、美術系大学教授、地域役員等からなる第5回福岡アジア美術トリエンナーレ実行委員会を立ち上げ、第1回実行委員会で開催計画案を策定した。 また、学芸員が延べ6回アジア各地に出張するとともに、現地の美術事情に詳しい専門家に調査を委託して、作家や作品の調査を実施した。
経済観光文化局アジア美術館	3,397	
FFACステップアップ助成プログラム (地域アーティストの育成)	8,213	福岡市内で行う芸術文化に関する公演・展示その他活動について、広く一般に公開され、新しい芸術文化を創造し発信する活動に対し、助成を行う。 申請の中から、学識経験者や芸術文化に造詣が深い者を含めた審査委員会にて助成対象を決定し、対象1件につき60万円を限度として助成を行った。 H24n採択件数:14件
経済観光文化局文化振興部文化振興課	5,516	

施策評価シート

分野別目標	7	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
施策	7-3	個人の才能が成長を生む創造産業の振興		
施策の方向性	ゲームをはじめとするデジタルコンテンツやファッション、デザイン、映画、音楽などクリエイティブ関連産業を官民一体となって振興するとともに、文化・芸術、食などを含めたあらゆるコンテンツを福岡市の魅力として磨き上げ、エンターテインメント都市づくりを進めます。			
施策主管局	経済観光文化局	関連局		

《施策事業の体系》 ★：新規事業 ◆：区事業 / 太字：重点事業 その他：主要事業

(施策7-3) 個人の才能が成長を生む創造産業の振興

- **クリエイティブ関連産業の振興**
 - クリエイティブ関連産業の振興(ゲーム、ファッション、デザイン、音楽等)
 - ★ **クリエイティブ産業拠点機能の検討<再掲7-4>**
 - ★ **大学・専門学校を活かしたクリエイティブ産業関連高度人材育成事業<再掲7-6>**
 - シリアスゲーム普及啓発事業
 - フィルムコミッション事業
 - ★ **クリエイティブ産業の海外展開支援(海外ビジネス出口創出事業)**
- **エンターテインメント都市づくり**
 - **アジアン・パーティ**
 [クリエイティブフェスタ、アジアフォーカス・福岡国際映画祭、アジア太平洋フェスティバル<再掲5-1>、福岡アジア文化賞<再掲8-6>]

《成果指標》

指標項目	現状値	中間目標値	目標値
		2016(平成28)年度	2022(平成34)年度
クリエイティブ関連産業事業所数	2,571事業所 (2009年)	2,750事業所	2,900事業所 (2021年)



※成果指標の実績値は、来年度以降に記載します。

1 主な課題等 ※来年度からこの欄には、成果指標や事業の進捗状況等を踏まえて「施策の評価」を記載します。

●クリエイティブ関連産業の振興

- ・ H25. 6. 14 に閣議決定された「日本再興戦略」において、国際展開戦略の一つとして「クールジャパンの推進」が盛り込まれた。
- ・ 福岡市では、クリエイティブ関連産業を大きな成長が見込まれ、福岡市の特性にあった強みのある産業分野として振興。
〈取組状況〉
 - ・ H18n に「福岡ゲーム産業振興機構」を設立し、ゲーム関連産業の振興・集積を図っている。
*H18n：12社 従業員約400名 →H24：18社、約900名
 - ・ アジアフォーカス・福岡国際映画祭や福岡フィルムコミッションについても映像文化の振興の観点に加え、集客や産業振興も視野に入れた施策展開を図っている。
- ・ 県内には約3万人の理工系大学生が在学しており、学生の7割は地元九州での就職を希望しているものの、6割の学生は地元九州外に就職しており、若くて優秀な人材が福岡で活躍できる場を創出することが求められている。
- ・ 情報系・デザイン系などクリエイティブ関連の教育機関から毎年7,000人の人材を輩出しているが、企業が求める人材と教育機関の教育内容にミスマッチが生じている。

●エンターテインメント都市づくり

- ・ クリエイティブでエンターテインメントな都市という都市ブランドを醸成し、定着させるため、アジアや福岡を取り巻く社会的・経済的な状況変化に対応しながら企業誘致やビジネス展開につなげる必要がある。
- ・ 20年以上にわたって、「アジアを知る」をテーマに実施してきたアジアマンスについては、若者への訴求やアジアや福岡を取り巻く社会的・経済的な状況変化に対応する必要がある。

※施策を構成する事業の実施状況は、別紙「事業一覧」のとおりです。

2 今後の取組みの方向性

●クリエイティブ関連産業の振興

- ・ ゲームをはじめ、アニメ・映像、音楽、ファッションなどクリエイティブを包括的に捉え、さらなる振興を図るとともに、企業誘致や海外展開、集客等にも繋げていく。
- ・ ゲーム産業分野では、産学官による福岡ゲーム産業振興機構を通じ、ゲーム業界の人材育成・確保に取り組む。
- ・ ファッション産業分野では、地場ファッション産業の活性化に向けた取組みを支援する。
- ・ デザイン産業分野では、NPO法人福岡デザインリーグなどと連携してデザイン関連産業の振興を図る。

●エンターテインメント都市づくり

- ・ H24n に設立した「クリエイティブ福岡推進協議会」を中心に産学官が一体となってクリエイティブ関連産業を振興し、クリエイティブな街を福岡ブランドとして確立させ、「クリエイティブ・エンターテインメント都市・福岡」の実現を図っていく。
- ・ 「アジアンパーティ」については、幅広く市民に対してその背景・趣旨や目的等をわかりやすく周知するとともに、若者向けの企画を盛り込むなど、より効果的な事業展開となるよう検討していく。

事業一覧

分野別目標	7 創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している
施策	7-3 個人の才能が成長を生む創造産業の振興

事業名 (太字は重点事業、細字は主要事業)	H25n予算額 単位：千円	H24n実施状況
所管課	H24n事業費 単位：千円	
シリアスゲーム普及啓発事業	9,901	H21nから行った「シリアスゲーム産業育成事業」への関心が高まり、ビジネス展開の可能性が見えてきたところであり、この機を逃さず、産学官連携による普及・啓発活動を継続した。
経済観光文化局国際経済・コンテンツ部コンテンツ振興課	9,946	1.シリアスゲームプロジェクト公式サイトでの運営。 2.展示会・セミナー等での講演。
フィルムコミッション事業①	3,414	①支援事業 撮影実績:66作品(海外2、映画6、ドラマ10、TV番組23、CM等25)、市民会員:6,886人。 FCNet九州・山口実務担当者会議やジャパン・フィルムコミッション(JFC)に参画する等、九州・山口や国内各地のFCとの連携強化を図った。 ②プロモーション事業 全国ロケ地フェアへの出展、全国ロケーションデータベースへの参画等、国内映像制作者に対し効果的なPRを行うとともに、JFCや省庁が開催するシンポジウム・セミナー等に参加し、国内映像制作者とのネットワーク構築を図った。
経済観光文化局国際経済・コンテンツ部コンテンツ振興課	4,016	また、AFCNetやBIFCOMでのブース出展を通じてアジア各地との連携強化を図り、アジア地域への映像制作者に対するPRを行い国際的な対応の強化を図った。 ③普及・啓発事業 地下鉄駅内の電照広告やテレビ・ラジオ番組への出演、パネル展の開催等によりFC事業のPRを行った。 ④企業との共同 福岡都市圏の企業等を対象とした「福岡ロケを応援し隊」を、H22.9月に発足し、撮影の円滑化と作品の質の向上を目的として、ロケ隊に対し、様々な付加的サービスを提供した。
フィルムコミッション事業②(フィルムコミッション海外業務拡充)	4,936	語学力と専門的な見識を有する嘱託員を配置し、韓国をはじめとするアジアの諸外国の映像制作者に対して直接プロモーションを行う等、海外撮影の積極的誘致と、映像制作者との対応の充実を図った。
経済観光文化局国際経済・コンテンツ部コンテンツ振興課	4,074	
クリエイティブ産業の海外展開支援(海外ビジネス出口創出事業)	6,932	①国際シンポジウムへの参加 H24.11月、「ASEAN-JAPAN Content Forum(シンガポール)」に、地元のゲーム企業と参加し、福岡及び企業のPRを実施するとともに海外政府機関等とのネットワークを形成した。
経済観光文化局国際経済・コンテンツ部コンテンツ振興課	3,602	②英国政府とのMOU締結 欧州のシリコンバレーの呼び声の高いテックシティを擁する英国政府と、本市の間で、今後のビジネス交流の礎となるMOUを締結した。
クリエイティブフェスタ(クリエイティブ・エンターテインメント都市づくり推進事業)	40,741	①クリエイティブ福岡推進協議会(クリエイティブ・ラボ・フクオカ)の設立 クリエイティブ関連産業を包括的に捉え、異業種間の交流・連携促進、国内外に向けた情報発信を通じて、クリエイティブ関連産業の振興、地域経済の活性化に繋げることを目的とする「クリエイティブ・ラボ・フクオカ」を1月に設立した。3月には総合イベント「クリエイティブフェスタ」を開催した。
経済観光文化局国際経済・コンテンツ部コンテンツ振興課	46,340	②スタートアップ・サポーターズの設立 デジタル技術やコンテンツ、モバイル分野等における創業者の発掘・育成を図り、「スタートアップ都市・ふくおか」の実現を目指すため、9月に「スタートアップ・サポーターズ」を設立した。

事業名 (太字は重点事業、細字は主要事業)	H25n予算額 単位：千円	H24n実施状況
所管課	H24n事業費 単位：千円	
アジアフォーカス・福岡国際映画祭	76,297	<p>本映画祭初の野外オープニングセレモニーと野外上映会を天神ふれあい広場で行った。アジア各国の映画人や特別ゲストの周防正行監督、おすぎさんがレッドカーペットを華やかに歩いた。</p> <p>作品については、アジア15カ国・地域の最新作や日本未公開作など優れた映画37本を日本語及び英語の字幕を付けて上映するとともに、55人の監督・出演者などを招き、上映会場でのディスカッションやサイン会、撮影会などを通じて市民との交流を深めた。また、多くの市民にアジア映画に親しむ機会として、関係団体などにより協賛企画が実施された。これらを含めると、合計15カ国・地域、233作品の上映となった。</p>
経済観光文化局国際経済・コンテンツ部コンテンツ振興課	80,224	

施策評価シート

分野別目標	7	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
施策	7-4	多様な人が集まり交流する創造的な場づくり		
施策の方向性	福岡都市圏の約3割の従業者や、多くの来訪者でにぎわう都心部においては、クリエイティブな人材や企業の集積、スタートアップ機能の充実を図ることとあわせ、建築物の更新期などをとらえた計画的な機能更新を促進し、オープンスペースをはじめとした出会いと交流を促す魅力的な都市空間の創出などにより、創造的な場づくりに取り組みます。			
施策主管局	住宅都市局	関連局	経済観光文化局	

《施策事業の体系》 ★：新規事業、◆：区事業 / 太字：重点事業、その他：主要事業

(施策7-4) 多様な人が集まり交流・対話する創造的な場づくり

● 創造的空間の整備・誘導

★ クリエイティブ産業拠点機能の検討

都市再生の推進<再掲8-1>

《成果指標》

(なし)

1 主な課題等 ※来年度からこの欄には、成果指標や事業の進捗状況等を踏まえて「施策の評価」を記載します。

●創造的空間の整備・誘導

- ・国際的な都市間競争が激化する中、都市活力を牽引する都心部の機能を強化し、魅力を高めるため、建築物の更新期を捉えた計画的な機能更新を促進し、出会いと交流を促す創造的な場づくりを進めることが重要である。
- ・H20、九州・アジア、環境、魅力、安全安心、共働をキーワードにした容積率緩和の新たな制度である「都心部機能更新誘導方策」を策定。H25. 3月、初適用事例となる「博多駅中央街地区地区計画」を都市計画決定した。また、グローバルなコンテンツ系企業であるLINE（株）のビル建設にあたっては、地域開放施設や隣接する公園の一体的な空間確保など、企業誘致と併せた創造的な場づくりに向け、都心部機能更新型総合設計制度を初期適用する予定である。さらに天神エリアでは、天神明治通り街づくり協議会による地区の機能更新が検討されており、地区計画の策定を進めている。
- ・福岡が強みを有するクリエイティブ関連産業の振興を図るため、民間事業者からは、包括的な拠点の設置が求められている。

※施策を構成する事業の実施状況は、別紙「事業一覧」のとおりです。

2 今後の取組みの方向性

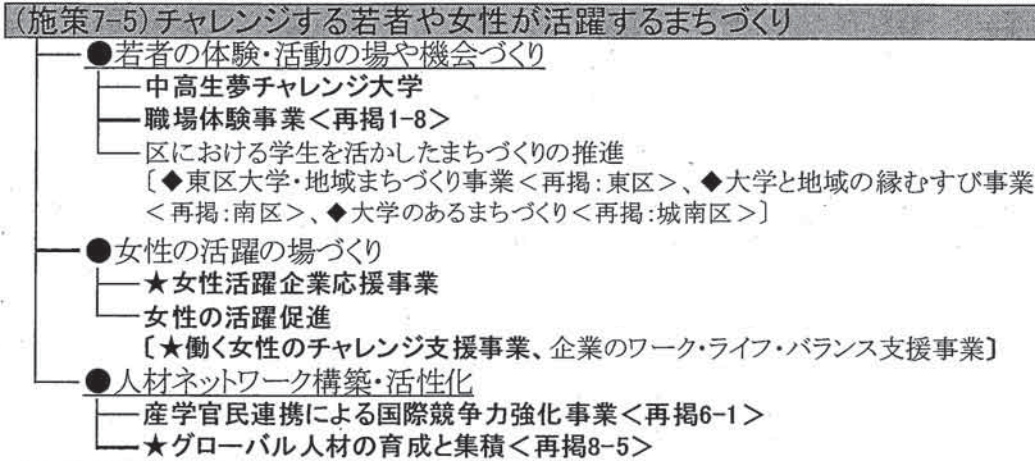
●創造的空間の整備・誘導

- ・「都心部機能更新誘導方策」を始めとする民間開発を後押しするまちづくり支援制度や活用事例などをPRすることにより、民間活力を引き出し、計画的な機能更新を促進することで都心部の魅力向上に資する空間整備を進める。
- ・クリエイティブ関連産業にかかる情報発信・展示、ビジネス交流、起業支援等の機能を備えた包括的拠点について、その必要性、必要な支援策等を調査し、検討する。

施策評価シート

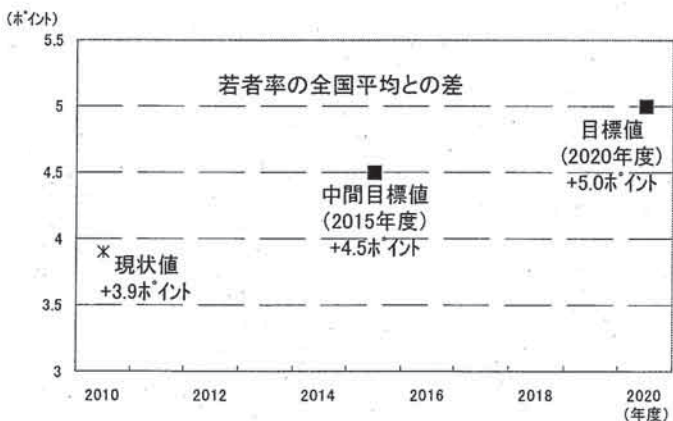
分野別目標	7	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
施策	7-5	チャレンジする若者や女性が活躍するまちづくり		
施策の方向性	目標に向かって果敢にチャレンジし、福岡を支え、リードする若者を育成するため、企業や大学などと連携し、さまざまな体験や活動の機会を提供します。それぞれがもつ可能性や創造力を引き出すとともに、福岡の将来を担う若者のネットワークを構築するなど、若者が多い福岡市の強みを生かしながら、都市の活力の向上を図ります。また、より多くの女性がリーダーとして能力を発揮できるよう、キャリア形成への意識改革や、能力開発の支援、活躍しやすい環境づくりなどに取り組みます。			
施策主管局	経済観光文化局	関連局	総務企画局、こども未来局、市民局、教育委員会	

《施策事業の体系》 ★：新規事業、◆：区事業 / 太字：重点事業、その他：主要事業



《成果指標》

指標項目	現状値	中間目標値	目標値
		2016 (平成28)年度	2022 (平成34)年度
若者率の全国平均との差 <small>(福岡市の人口に占める若者率の全国平均との乖離)</small>	+3.9ポイント (2010年度)	+4.5ポイント (2015年度)	+5.0ポイント (2020年度)
企業における女性管理職比率	5.5% (2009年度)	7% (2014年度)	12%



※成果指標の実績値は、来年度以降に記載します。

1 主な課題等 ※来年度からこの欄には、成果指標や事業の進捗状況等を踏まえて「施策の評価」を記載します。

●若者の体験・活動の場や機会づくり

- ・ 福岡市は大学や短大、専門学校が集積しており、若者率（15～29歳の割合）は指定都市で最高であるが、近年は減少傾向にある。若者は都市活力の源泉ともなっており、若者のさらなる集積と活躍支援が重要である。
*若者率：H17国調：22.5%→H22国調：19.2%
- ・ 子ども・若者の生きる力の低下が問題視されており、若者の社会的・職業的自立や学校から社会・職業への円滑な移行のほか、創造性に富んだ人材の育成、多様な人材が活躍する社会の形成などが課題となっている。
- ・ 中高生の段階で、自己の創造性に気づき、将来を考える機会となる体験や活動の場の充実が必要である。

●女性の活躍の場づくり

- ・ 福岡市では、人口構成上も、サービス業が多い産業構造からも、女性の活躍が都市活力の源泉となっている。
- ・ 女性の労働力率は、指定都市で最も高い（H22n53.9%）。一方で、潜在的労働力率との乖離が全国より大きく、さらに女性が活躍できる潜在力が高い。
- ・ 「女性の活躍」は、国の成長戦略の中核に位置づけられ、「女性の活躍促進による経済活性化行動計画」（H24）では、政府を挙げて、企業や団体への直接的な働きかけを行うことなどが掲げられている。
- ・ 国は第3次男女共同参画基本計画に、2020年までにあらゆる分野で指導的地位を占める女性の割合を30%にすることを目標として掲げているが、民間企業の課長相当職以上に占める女性の割合は、6.9%（H24）と依然低い。

※施策を構成する事業の実施状況は、別紙「事業一覧」のとおりです。

2 今後の取組みの方向性

●若者の体験・活躍の場や機会づくり

- ・ 企業・大学・NPO等とのさらなる連携を図り、福岡の将来を担う人材を育成する場や機会の充実を図るとともに、若者のネットワークを形成していく。
- ・ 全市中学校の2年生を中心に実施している職場体験については、受け入れ先となる事業所の確保を図るため、職場体験受入の協力企業との連携を推進する。

●女性の活躍の場づくり

- ・ 女性が多い都市の特性や国の成長戦略等を踏まえ、女性の能力開発の支援、女性活躍に取り組む企業の支援など、女性が活躍しやすい環境づくりを推進する。

●人材ネットワーク構築・活性化

- ・ 企業の若手社員や大学の学生・留学生などの多様な人材を集積・交流させることでイノベーションを起こし新たなビジネスやプロジェクトを創出する「グローバル・コネクト・ハブ」構想（福岡地域戦略推進協議会）の実現に向けて取り組む。

事業一覧

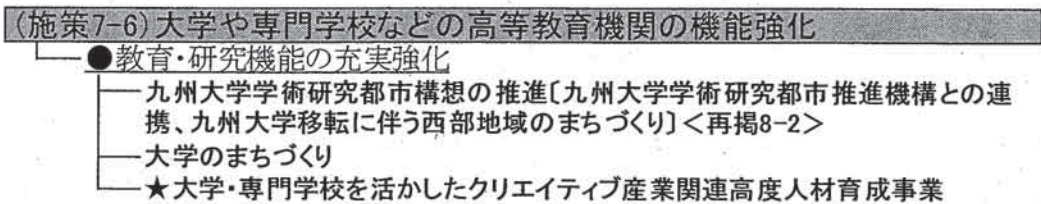
分野別目標	7 創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している
施策	7-5 チャレンジする若者や女性が活躍するまちづくり

事業名 (太字は重点事業、細字は主要事業)	H25n予算額 単位：千円	H24n実施状況
所管課	H24n事業費 単位：千円	
中高生夢チャレンジ大学	10,267	参加者:123名(中学生80名,高校生43名) ○開校式・宿泊研修(海の中道青少年海の家1泊2日) ・自分を知り,自分が求めているものを掘り起こすワークショップを実施 ○講座 ・起業・食・ファッション・ゲーム・観光の5分野から2分野を選択し,受講 ・福岡で活躍する人から,人生観・職業観を直に学ぶ
こども未来局こども部総務企画課	10,770	○閉校式・交流会 ・未来の自分への誓いを立てる ・振り返りワーク
女性の活躍促進(企業のワーク・ライフ・バランス支援事業)	678	○企業向け出前型セミナーの実施 ・内容 3つのコースから選択できる。 ①一般従業員向け(入門編) ②経営者や管理職向け(基礎編) ③人事・労務担当者向け(実践編)
市民局男女共同参画部男女共同参画課	341	・対象 市内企業 ・講師 NPO法人 福岡ジェンダー研究所 ・受講企業数 17社 (244人) ○講演会の実施 ・テーマ 「一流の中小企業を目指して」 ・参加者 70名

施策評価シート

分野別目標	7	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
施策	7-6	大学や専門学校などの高等教育機関の機能強化		
施策の方向性	都市の活力を支える大学や専門学校の教育・研究機能を充実・強化するため、若者が集まるよう都市の魅力を高めながら、各教育機関の個性・魅力を向上する活性化の取組みや、大学間の連携・ネットワーク構築を積極的に支援、促進するとともに、地域や産業界との連携を推進します。			
施策主管局	経済観光文化局	関連局	住宅都市局	

《施策事業の体系》 ★：新規事業 ◆：区事業 / 太字：重点事業 その他：主要事業



《成果指標》

指標項目	現状値	中間目標値	目標値
		2016(平成28)年度	2022(平成34)年度
全国の学生数に占める福岡市の割合	2.9% (2011年度)	現状維持	現状維持



※成果指標の実績値は、来年度以降に記載します。

1 主な課題等 ※来年度からこの欄には、成果指標や事業の進捗状況等を踏まえて「施策の評価」を記載します。

●**教育・研究機関の充実強化**

- ・福岡市には、11 大学・9 短大が立地する全国でも有数の大学集積地であり、大学の教育・研究機能、また若者の集積や大学活動等による経済波及効果など、大学は都市活力の源泉となっている。一方、少子化やグローバル化の進展など、大学を取り巻く環境は厳しさを増している。
- ・人口あたりの学生数は減少傾向（H19:79.6 人/千人 → H24:73.4 人/千人）にある。また、学生は福岡での就職を希望しているが、半数以上の学生が県外で就職しており、高度人材の流出防止が課題である。
- ・企業が求める人材と教育内容との間にミスマッチがあり、教育機関との相互交流・連携が必要である。
- ・「大学のまち」としての魅力を高めるため、大学の活性化、大学間の連携・ネットワークを支援促進するとともに、大学の魅力発信、学生の人材育成、企業と学生とのマッチングをさらに進める必要がある。

●**九州大学学術研究都市構想の推進**

1 九州大学学術研究都市推進機構との連携

(1) 取組状況等

- ・九州大学学術研究都市構想を推進するため、九州大学学術研究都市推進機構と連携し、九州大学統合移転事業の円滑な推進に向けた協力支援や周辺のまちづくり及び研究開発機能の立地誘導に取り組んでいる。
- ・九州大学伊都キャンパス整備は H31n の移転完了に向け、現在は第Ⅲステージ（最終ステージ）に入っている。

(2) 課題

- ・伊都キャンパスは学研都市の核であり、スケジュールに沿って整備を推進する必要がある。

2 九州大学移転に伴う西部地域のまちづくり

(1) 取組状況等

- ・伊都キャンパスへの主要アクセス道路の学園通線の整備を進めている。
- ・伊都キャンパス直近のまちづくりの支援
元岡地区において組合施行による土地区画整理事業（約 16.2ha）が H24n に完了。学生向け住宅の供給や生活利便施設等の立地が徐々に進んでいる。

(2) 課題

- ・伊都キャンパス直近のまちづくりの支援
元岡地区では住宅などの立地が進みつつはあるものの、さらに土地利用を促進する必要がある。
桑原地区では H19 に土地区画整理準備組合が立ち上がったが、現在事業化に至っていない。

※施策を構成する事業の実施状況は、別紙「事業一覧」のとおりです。

2 今後の取組みの方向性

●教育・研究機関の充実強化

- ・福岡都市圏 20 大学・福岡商工会議所・福岡市で構成する「大学ネットワークふくおか」を核として、大学・圏域の情報発信、大学間や産学官の連携を推進し、学生活動の活性化を図る。さらに学生を集積するため、福岡、九州だけでなく、関東、関西など全国の高校生に対して、福岡の大学と地域の魅力を情報発信する。
- ・単に学生を集めるだけでなく、地域を担う優秀な人材となるための、企業を交えた人材育成等を推進する。学生の地元への定着を図るため、「大学ネットワークふくおか」における、大学等での地場企業の経営者による中小企業の魅力紹介や企業見学会を実施するなど、企業と学生とのマッチングをさらに進める。
- ・クリエイティブ関連人材に関しては、インターンシップ制度の活用や、福岡ワン minute フィルム・コンペティションの成果を発表する場への露出などを通じて、積極的な人材育成を行う。

●九州大学学術研究都市構想の推進

1 九州大学学術研究都市推進機構との連携

- ・九州大学統合移転のスケジュールに沿った推進のために、産学官共同による国への働きかけを継続して実施するとともに、九州大学学術研究都市推進機構と連携しながら、企業・研究機関の誘致を図るなど、学術研究都市づくりを進める。

2 九州大学移転に伴う西部地域のまちづくり

- ・元岡地区において研究開発機能の集積や生活利便施設等の立地誘導を図るとともに、二級河川周船寺川・水崎川や学園通線等の関連インフラ整備を推進する。
- ・産学連携交流センターや有機光エレクトロニクス実用化開発センターを拠点として、大学等の先端的な研究成果の活用、企業等の連携交流を促進するとともに、関連企業・研究機能の集積を図る。

事業一覧

分野別目標	7 創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している
施策	7-6 大学や専門学校などの高等教育機関の機能強化

事業名 (太字は重点事業、細字は主要事業)	H25n予算額 単位：千円	H24n実施状況
所管課	H24n事業費 単位：千円	
大学のまちづくり	9,959	<p>○大学ネットワークふくおかの運営</p> <p>【情報発信事業】福岡都市圏大学及び福岡での学生生活の魅力を発信するため、ホームページの運営・更新を行うとともに、映画の試写会招待企画、FMラジオ番組での告知等により、ホームページへの誘導を図った。</p> <p>【大学共同事業】地域の将来を担う人材の育成、地域の活性化を目的とした「学生研究発表会」、企画立案等の目的を持った「学生就業体験(ワークプレースメント)」、福岡の大学と都市の魅力を訴えるイベントや広報活動を行う「ふくおかで学ぼう事業」、学生間交流、学生と市民、高校生との交流を目的に、学生が自ら企画・運営する「ふくおか学生イベント」を実施した。</p>
経済観光文化局新産業・立地推進部 創業・大学連携課	10,419	